

組合せ作成について

順位決定戦を行っている場合は、その順位でシードを決定する。

前回大会（関東予選→前年度新人大会、インターハイ予選→関東予選、新人大会→インターハイ予選）と同じ位置で当たらないようにする。

前年度新人大会の学校対抗の部で9～12位のチームは関東大会予選では、シードとして扱う。

公開抽選は学校対抗の部のみ行う。

また、公開抽選はシード校のみ行い、それ以下は、専門部が抽選を行う。

①関東予選について

前年度、新人大会の結果を用いる

学校対抗の部：1～8シードは、新人大会の順位通りに決定する。

9～12シードは、公開抽選する。（新人大会と同じ当たりにならないようにする）

シード以下は抽選する。

シングルの部：1～16シードは、同校同士の当たりを配慮し、同ランクを抽選する。

シード以下は抽選する。ただし、同校同士の当たりを配慮する。

※原則として、新入生は前年度、中学関東大会シングルの部、中学全国大会シングルの部、全日本ジュニアの部に出場している選手の大会結果をもとに総合的に判断し、ベスト32シードもしくは9～16位の山のベスト64シードとして抽選する。

ダブルスの部：1～8シードは、同校同士の当たりを配慮し、同ランクを抽選する。

シード以下は抽選する。ただし、同校同士の当たりを配慮する。

ペアを組み替えている場合は、ランクを一つ落とす。

ペアを組み替えている場合は、同じ当たりに対しての配慮はしない。

ペアの組み替えでシード選手が8組いない場合は、新人大会でベスト8になったペアの中から組み替えを行った選手をシードとする。

上記の条件に該当するペアがない場合は、新人大会のシングルの結果、申込用紙の順位などを考慮し、専門部が選出する。

同順位の場合は抽選する。

※原則として、新入生は前年度、中学関東大会、中学全国大会シングルの部、全日本ジュニアの部に出場している選手同士のペアはベスト16シードもしくは9～12位の山のベスト32シードとして抽選する。

②インターハイ予選について

関東予選の結果を用いる

学校対抗の部：1～8 シードは、関東予選の順位通りに決定する。
シード以下は抽選する。

シングルス部の部：1～16 シードは、同校同士の当たりを配慮し、同ランクを抽選する。
シード以下は抽選する。ただし、同校同士の当たりを配慮する。

ダブルスの部：1～8 シードは、同校同士の当たりを配慮し、同ランクを抽選する。
シード以下は抽選する。ただし、同校同士の当たりを配慮する。
ペアの組み替えている場合は、ランクを一つ落とす。
ペアを組み替えている場合は、同じ当たりに対しての配慮はしない。
ペアの組み替えでシード選手が8組いない場合は、関東大会予選でベスト8になったペアの中から組み替えを行った選手をシードとする。
上記の条件に該当するペアがない場合は、関東大会予選のシングルス部の結果、申込用紙の順位などを考慮し、専門部が選出する。
同順位の場合は抽選する。

③新人大会について

インターハイ予選の結果を用いる

学校対抗の部：1～4 シードは、インターハイ予選の順位通りに決定する。ただし、スーパーシードの学校が不参加の場合は、ベスト8のチームをスーパーシード扱いとせず、不参加のチームを除いた対象校をスーパーシードとする。
空いたスーパーシードのところにはトーナメント方式で5～8位のチームをシードの対象とする。
その際、第8シード、第7シードの順に不参加数に応じて抽選箇所が上位から4つになるように変更する。以下も同様の対応をしていく。
インターハイ予選Aクラスに出場したチームはシード校として公開抽選とする。
前回大会のあたりに配慮せずに抽選する。

シングルス部の部：1～16 シードは、同校同士の当たりを配慮し、同ランクを抽選する。
シード以下は抽選する。ただし、同校同士の当たりを配慮する。
3年生が抜けた後でシード選手が16名いない場合は、インターハイ予選でベスト32の選手から関東大会予選の結果をもとに専門部が選出する。
同順位の場合は抽選する。

ダブルスの部：1～8 シードは、同校同士の当たりを配慮し、同ランクを抽選する。
シード以下は抽選する。ただし、同校同士の当たりを配慮する。
ペアの組み替えがあった場合は、ランクを一つ落とす。
ペアを組み替えている場合は、同じ当たりに対しての配慮はしない。
ペアの組み替え、または3年生が抜けた後でシード選手が8組いない場合は、インターハイ予選でベスト8になったペアの中から組み替えを行った選手をシードとする。
上記の条件に該当するペアがない場合は、インターハイ予選のシングルス部の結果、申込用紙の順位などを考慮し、専門部が選出する。
同順位の場合は抽選する。